

## V. 特記事項

### 1. 大学等による「おおいた創生」推進協議会（プラットフォーム事業の展開）

#### 1) 大分県の現状・課題

本学が所在する大分県において、高等教育機関に期待する役割として、下記が期待されている。（大分県「安心・活力・発展プラン 2015」及び「まち・ひと・しごと創生 大分県総合戦略」より）

- 大学等高等教育機関は「知（地）の拠点」として、学生の確保や生涯学習の提供、グローバル人材の育成、自治体や企業等との連携など地域への貢献が期待されています。
- 県内の研究・教育振興の中心的役割を担いつつ、地域に密着したカリキュラムや留学生の活用など、それぞれの大学の特色を生かすことが求められています。

#### 2) ビジョン・目標

そこで、本学は大分県内の大学等高等教育機関の取り纏め校として、平成 30(2018)年度私立大学等改革総合支援事業・タイプ 5「プラットフォーム形成」に申請を行い、選定された（令和元(2019)年度もタイプ 3「地域社会への貢献：プラットフォーム型」に選定）。

同事業では、「人生 100 年時代を見据えたライフステージの各段階を支えるおおいた地域の地（知）のプラットフォームの実現」をビジョンとして掲げ、下記を目標としている。

- ① 高大接続の実質化による中等教育支援と高等教育機関進学への推進
- ② 産学官連携による地域の高等教育の質向上と地域創生人材の育成
- ③ 産学官連携による県内就職の促進
- ④ 地域を対象とした教育研究による産業・地域活性化の推進と社会人の学び直し支援

大分県と構成大学等の連携事業数：  
 基準値 122 件（平成 28(2016)年度）→目標値 140 件（令和 4(2022)年度）  
 事業参加機関の満足度：目標値 80%（令和 4(2022)年度）

#### 3) 取組み

本協議会では、専門部会として「①高等教育活性化部会」「②教育プログラム開発部会」「③県内就職率向上部会」「④産業振興・雇用創出部会」の 4 つを設置している。本学が事務局を務める①の部会では、令和元(2019)年度より全大学等の情報を一元化した「オープンキャンパスガイド」を作成、県下全高校全学年高校生に配布、活用を促すことを実現するなど大きな成果を上げた。②の部会では、県下の大学が合同で実施する FD/SD 研修会を本学で初開催したり、地域課題解決のできる人材であることを認証する「おおいた共創士」を令和元(2019)年度本学から初となる 2 人を輩出するなど、大学間・産学官の連携の実質化が軌道に乗り始めた。③の部会では、インターンシップフェア、県内業界研究セミナー等を合同で実施しており、本学からも多くの学生が参加している。大学連携によるリカレント教育や産学官連携による地域課題解決研究は、令和元(2019)年度から本格化し、大学間でより連携を強めた内容に昇華させる方針で取組みが始まった。